

酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会

日 時：平成 26 年 6 月 30 日（月）
14 時 00 分～

場 所：酒田市役所 4 階 第一委員会室

一 次 第 一

1 開 会

2 挨 拶

3 駅周辺地区の現況や経過についての概要説明

4 意見交換

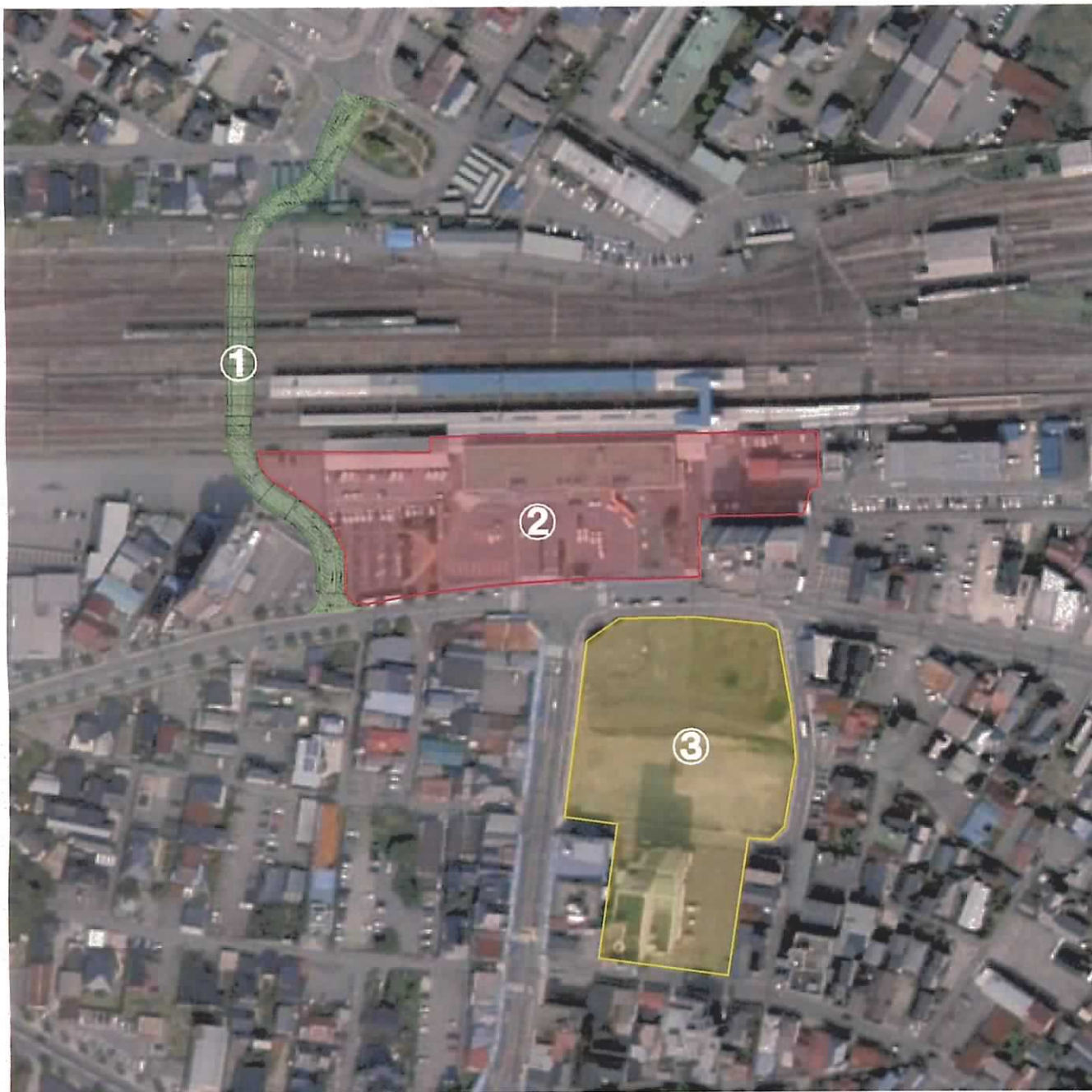
5 その他

6 閉 会

酒田駅前地区優良建築物等整備事業（旧ジャスコ跡地）の経過について

昭和 50 年 9 月	酒田駅前ジャスコビル竣工（市街地再開発事業）
平成 9 年 8 月	ジャスコ酒田駅前店撤退
平成 13 年 2 月	酒田駅前ビル(株)設立、ジャスコとの売買契約締結
平成 14～15 年度	ジャスコビル、旧駐車ビルの解体
平成 18 年	酒田駅前ビル(株)破産手続き開始
平成 19 年 7 月	ジャスコ跡地を市が取得
平成 20 年 9 月	民間グループが開発構想を提案、公表
平成 20 年 12 月	酒田フロントスクエア開発準備会設立
平成 21 年 5 月	幸町 1 丁目地区コーディネート業務委託 （酒田フロントスクエア開発準備会）
平成 22 年 9 月	(株)酒田フロントスクエア設立
平成 23 年 11 月	ジャスコ跡地複合ビル実施設計発注 （(株)酒田フロントスクエア）
平成 24 年 11 月	ジャスコ跡地複合ビル建設工事入札（入札不調）
平成 25 年 6 月	駅前開発事業の自力での実施困難な旨を発表 （(株)酒田フロントスクエア）
平成 25 年 9 月	市が駐車場を購入しても事業成立が困難な旨を議会に報告
平成 25 年 12 月	市に対して事業の中止申請書を提出 （(株)酒田フロントスクエア）
平成 26 年 4 月	市が暫定駐車場として旧ジャスコ跡地を開放

酒田駅周辺地区調査結果等整理図



図番号	①
事業区分	東西道路整備
調査年	平成24年2月
事業費	約 50 億円 (消費税10%) ※最も安価な工法による事業費
内容	道路延長 221.95 m
事業期間	約8年間 (設計約2年間を含む)

図番号	②																		
事業区分	酒田駅舎、駅前広場整備																		
調査年	平成25年10月																		
事業費	33.5 億円 内訳 (消費税10%) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>駅舎</td> <td>21.0 億円</td> </tr> <tr> <td>駅前広場</td> <td>12.5 億円</td> </tr> </table>	駅舎	21.0 億円	駅前広場	12.5 億円														
駅舎	21.0 億円																		
駅前広場	12.5 億円																		
内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施設</th> <th>調査結果</th> <th>現状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・駅舎面積</td> <td>2,276 m²</td> <td>2,720 m²</td> </tr> <tr> <td>・バスベイ</td> <td>4 台</td> <td>0 台</td> </tr> <tr> <td>・タクシープール</td> <td>12 台</td> <td>12 台</td> </tr> <tr> <td>・駐車場</td> <td>53 台</td> <td>52 台</td> </tr> <tr> <td>・駐輪場</td> <td>600 台</td> <td>731 台</td> </tr> </tbody> </table>	主な施設	調査結果	現状	・駅舎面積	2,276 m ²	2,720 m ²	・バスベイ	4 台	0 台	・タクシープール	12 台	12 台	・駐車場	53 台	52 台	・駐輪場	600 台	731 台
	主な施設	調査結果	現状																
	・駅舎面積	2,276 m ²	2,720 m ²																
	・バスベイ	4 台	0 台																
	・タクシープール	12 台	12 台																
・駐車場	53 台	52 台																	
・駐輪場	600 台	731 台																	
事業期間	約7年間 (設計・通信機器移転約4年間を含む)																		

図番号	③
事業区分	酒田駅前地区優良建築物等整備 (酒田フロントスクエアの計画)
事業費	59.0 億円 (消費税5%) 平成25年8月時点
内容	商業施設(店舗、宴会場、レストラン) 駐車場、公共施設、ホテル、マンション

駅及び駅周辺に求められる機能整理 (案)

《基本理念》

本格的な人口減少社会を見据え(将来人口推計2040:7万人台)、20年後、30年後も酒田市が持続的に発展できるように「交流」「にぎわい」のまちづくりを推進

- ◎ 駅及び駅周辺を 来酒者を迎える「玄関口」及び「交通結節点」として機能整理。
- ◎ 駅及び駅周辺を 市民生活の利便性を高め、にぎわい・交流を向上させる場所・空間と捉えて機能整理。

～「観光起点」+「市民の憩いの場」～

駅周辺を拠点にまち全体が有機的につながり、来街者、居住者がともに潤いを生み出すようなまちづくり

駅及び駅周辺に求められる機能

【来街者に対する機能】

1 玄関口機能

駅舎、広場空間など玄関口機能
まちの顔としてのシンボル機能

ex.

- ①酒田駅は「交流」のまちづくりの拠点
- ②来街者に対する玄関口としての新たなランドマーク
 - ・エントランス機能(ロビー・ラウンジ機能)の充実
 - ・「まちの顔」としてシンボル機能
- ③魅力あふれる地域資源の情報発信拠点
 - ・インフォメーション機能の充実
- ④鉄道高速化をにらんだ駅舎、駅前広場、周辺施設を含めた総合的な景観形成

施設具体イメージ

ex.

- ・エントランス(ロビー・ラウンジ等) (〇〇㎡)
- ・インフォメーションセンター (〇〇㎡)

2 交通結節機能

鉄道とバス・タクシーなど
多様な交通手段間での乗換機能

ex.

- ①快適な二次交通への乗継ぎと効率的な移動の確保
 - ・バスターミナル、タクシープール、駐車施設等の適正配置(※市内観光、広域観光)
- ②駅を中心とした快適な歩行環境整備
 - ・歩行者にやさしい上質な空間の提供(ユニバーサルデザイン、サイン計画)
- ③自転車環境においても中心的な拠点整備
 - ・駐輪場の適正配置、歩行者動線との分離等
- ④駅を中心とした地域の自由な交流(・鉄道による市街地分離の克服)

ex.

- ・バスプール
- ・タクシープール
- ・駐車場(〇〇台)
- ・駐輪場(〇〇台)
- ・周辺道路整備(〇〇m)
- ・東西道路(220m)

【地域生活者に対する機能】

3 市民にぎわい交流機能

利便性の高い日常的な市民の憩いの場としての機能

ex.

- ①憩いの広場、イベント広場
- ②市民が利用する公共施設
 - ・図書館、学習スペースなど
- ③健康増進施設
- ④地域特産物(産直・お土産)の販売・PR
- ⑤上記施設と他機能とのコラボレーション(カフェなど)
- ⑥観光客、来街者を受け入れる施設
 - ・ホテル、コンベンション
- ⑦教育施設(学校など)

ex.

- ・公共施設(図書館等) (〇〇㎡)
- ・教育施設(〇〇㎡)
- ・自走式立体駐車場(〇〇㎡・〇〇台)
- ・商業施設(〇〇㎡)
- ・ホテル(〇〇㎡)

4 まちなか居住機能

まちなか居住人口の緩やかな回復

ex.

- ①生活の利便性向上
 - ・交番、金融機関などの窓口
 - ・医療福祉施設
- ②まちなか居住の充実
 - ・マンション、サービス付き高齢者住宅など
- ③高齢者等が利用する施設
- ④子育て世帯が利用する施設

ex.

- ・交番、金融機関など (〇〇㎡)
- ・自走式立体駐車場(〇〇㎡・〇〇台)
- ・医療福祉施設(〇〇㎡)
- ・居住施設(〇〇㎡)

“まちの魅力と利便性を向上させ、「ひと」で賑わう空間”

【駅及び駅周辺に求められる機能のイメージ】



＜市の基本的考え方＞

- 未来の酒田を築くため「交流」のまちづくりを推進
- 酒田のまちの新たなイメージを生み出す
- 地域資源(景観、歴史、食文化)を大切に育て、アピール
- 身の丈の開発規模、段階的に開発
- 定住人口の緩やかな回復による地域活性化
- 街の活動を支える交通環境整備

※各々の事業が相乗効果を発揮して展開

市民意見等の機能別整理

駅及び駅周辺に求められる機能

【来街者に対する機能】

1 玄関口機能

駅舎、広場空間など玄関口機能
まちの顔としてのシンボル機能

ex.

- ①酒田駅は「交流」のまちづくりの拠点
- ②来街者に対する玄関口としての新たなランドマーク
 - ・エントランス機能（コピー・ラウンジ機能）の充実
 - ・「まちの顔」としてシンボル機能
- ③魅力あふれる地域資源の情報発信拠点
 - ・インフォメーション機能の充実
- ④鉄道高速化をにらんだ駅舎、駅前広場、周辺施設を含めた総合的な景観形成

2 交通結節機能

鉄道とバス・タクシーなど
多様な交通手段間での乗換機能

ex.

- ①快適な二次交通への乗継ぎと効率的な移動の確保
 - ・バスターミナル、タクシープール、駐車施設等の適正配置（※市内観光、広域観光）
- ②駅を中心とした快適な歩行環境整備
 - ・歩行者にやさしい上質な空間の提供（ユニバーサルデザイン、サイン計画）
- ③自転車環境においても中心的な拠点整備
 - ・駐輪場の適正配置、歩行者動線との分離等
- ④駅を中心とした地域の自由な交流
 - （・鉄道による市街地分離の克服）

【地域生活者に対する機能】

3 市民にぎわい交流機能

利便性の高い日常的な市民の憩いの場としての機能

ex.

- ①憩いの広場、イベント広場
- ②市民が利用する公共施設
 - ・図書館、学習スペースなど
- ③健康増進施設
- ④地域特産物（産直・お土産）の販売・PR
- ⑤上記施設と他機能とのコラボレーション（カフェなど）
- ⑥観光客、来街者を受け入れる施設
 - ・ホテル、コンベンション
- ⑦教育施設（学校など）

4 まちなか居住機能

まちなか居住人口の緩やかな回復

ex.

- ①生活の利便性向上
 - ・交番、金融機関などの窓口
 - ・医療福祉施設
- ②まちなか居住の充実
 - ・マンション、サービス付き高齢者住宅など
- ③高齢者等が利用する施設
- ④子育て世帯が利用する施設

市民等の意見

- (1) 駅舎
 - ・ 明るい駅、酒田らしさが感じられる駅
 - ・ 駅東側からも利用できるような橋上駅
 - ・ 商業施設と駅舎を一体化したビル
 - ・ 駅舎の塗り替え
 - ・ 立派なもの不要
 - ・ 鉄道高速化を見据えて焦らずに取り組む
- (2) シンボル機能
 - ・ 酒田らしいモニュメント
 - ・ 特色ある駅前
 - ・ 時計の設置
- (3) 観光案内所
 - ・ わかりやすい場所に配置
- (4) 休憩施設
 - ・ 喫茶スペース
 - ・ 学習スペース
 - ・ 交流スペース
- (5) 景観
 - ・ 駅前通りの電線の地中化
 - ・ 統一した景観イメージの導入（カラー、街並み）
 - ・ まちづくり協定の制定
 - ・ 花、樹木など緑の配置
- (6) その他
 - ・ 駅正面道路を西側に移動し駅前広場を広くする

- (1) 交通結節機能の充実
 - ・ バス停、タクシー乗り場、駐車場、駐輪場の再配置
- (2) バス
 - ・ バスターミナルの整備（バスの始発・終着点）、集約
 - ・ バス停に屋根の設置
 - ・ バス停を駅前広場に設置し乗り継ぎの利便性向上
 - ・ 観光バスベイの設置
 - ・ 駅前広場に必ずしも高速バスの停留所はいらぬ
- (3) 駐車場
 - ・ 規模の大きい駐車場（公共、無料、平面など）
 - ・ 送迎用の乗降場所（キス&ライド）
 - ・ 駅前広場はバス、タクシーと一般車両は旧ジャスコ跡地を利用
- (4) 駐輪場
 - ・ 屋根の設置
 - ・ 駐輪場の増設
- (5) 東西道路
 - ・ 東西道路は鉄道高速化にあわせて実施
 - ・ 必要性は薄い
- (6) 歩道
 - ・ 広い歩道
 - ・ 歩行者と自転車の通行部分の区分け
 - ・ 街灯の増設
 - ・ 危険箇所と暴風への対策
- (7) その他
 - ・ バリアフリー化
 - ・ 周遊バスの運行（中町、日和山方面への動線確立）
 - ・ 鉄道やバスの運行本数の増加
 - ・ 鉄道、バスの乗り継ぎ時間の調整

- (1) 旧ジャスコ跡地の開発
 - ・ 商業機能の充実
 - ・ 市民サービス等の公共的機能の導入
- (2) 公共的機能
 - ・ 観光案内所
 - ・ 図書館、交流センター、学習センター
 - ・ スポーツセンター、健康関連施設
 - ・ 休憩所、公園、イベント広場
 - ・ 上記施設に飲食店やコンビニを併設
- (3) 商業的機能
 - ・ 買い物のできる施設（生鮮品店、日用品店、コンビニ、産直等）
 - ・ 食事のできる施設（飲食店、喫茶店、カフェ）
 - ・ 宿泊観光に関する施設（ホテル、コンベンション、観光案内所、お土産屋）
 - ・ その他（温泉施設、マッサージ、カルチャースクール）
- (4) ソフト事業
 - ・ 駅前から中町、日和山方面への動線の確立（周遊バスの運行）
 - ・ 付加価値をつけた酒田らしい食事の提供
 - ・ 人が集まるイベントや祭りの拡充
 - ・ 観光ガイドマップの作成と常備店の表示
 - ・ 観光ボランティア等のおもてなしの心の醸成
- (5) その他支援策
 - ・ 空き店舗解消、進出事業者等への支援
 - ・ 景観づくりへの補助

- (1) 商業的機能
 - ・ 金融関係施設（銀行、郵便局、ATM）
- (2) 医療福祉機能
 - ・ 病院、薬局、福祉施設、介護施設
- (3) 居住機能
 - ・ 新規住宅（マンション等）の整備
 - ・ 高齢者用マンションの整備
- (4) 公共的機能
 - ・ 子育て関連施設



駅周辺地区の現状 -人口の推移-

1 駅周辺地区の区域

ジャスコ跡地を中心に半径500mの円に面積の大部分が含まれる町・丁目



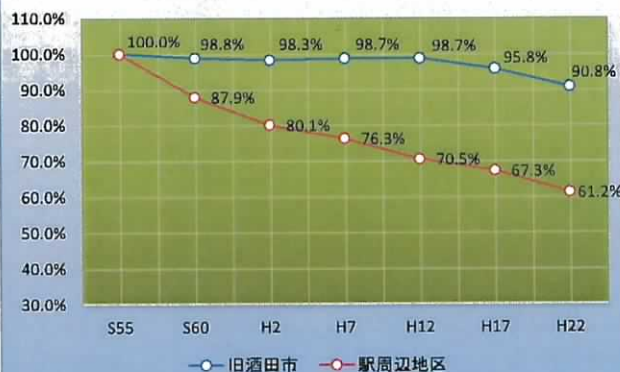
2 人口の推移 ~旧酒田市と駅周辺地区の人口推移の比較~

(単位:人)

人口	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
旧酒田市	102,600	101,392	100,811	101,230	101,311	98,278	93,187
駅周辺地区	7,233	6,359	5,782	5,518	5,101	4,867	4,430

(出典:国勢調査報告書)

人口増減率の推移表(S55→H22)



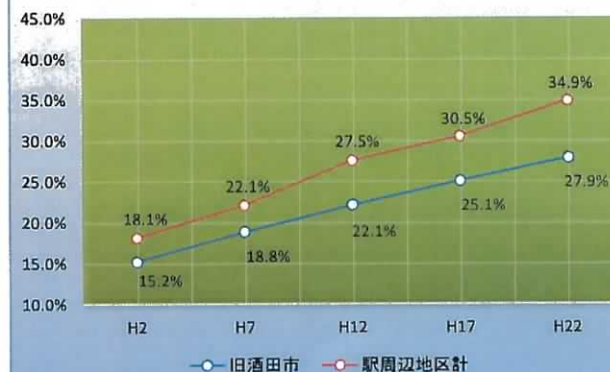
3 高齢化率の推移 ~旧酒田市と駅周辺地区の人口推移の比較~

高齢化率=65歳以上の人口/全人口

地域名	H2	H7	H12	H17	H22
旧酒田市	15.2%	18.8%	22.1%	25.1%	27.9%
駅周辺地区	18.1%	22.1%	27.5%	30.5%	34.9%

(出典:国勢調査報告書)

高齢化率の推移表(H2→H22)



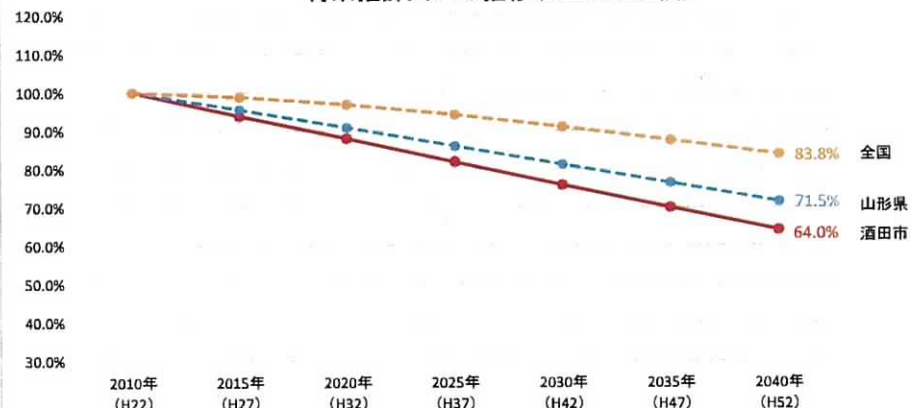
4 人口の推移 ~酒田市の将来推計人口の増減率~

(上段:推計人口・人)
(下段:H22比較率)

年度	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (H32)	2025年 (H37)	2030年 (H42)	2035年 (H47)	2040年 (H52)
酒田市	111,151 100.0%	104,341 93.9%	97,751 87.9%	90,988 81.9%	84,268 75.8%	77,677 69.9%	71,170 64.0%
0~14歳	14,123 100.0%	12,209 86.4%	10,487 74.3%	9,140 64.7%	8,029 56.9%	7,265 51.4%	6,708 47.5%
15~64歳	65,192 100.0%	58,120 89.2%	52,176 80.0%	47,335 72.6%	43,038 66.0%	38,853 59.6%	34,236 52.5%
65歳以上	31,836 100.0%	34,012 106.8%	35,088 110.2%	34,513 108.4%	33,201 104.3%	31,559 99.1%	30,226 94.9%
(参考)山形県	1,168,924 100.0%	1,116,236 95.5%	1,062,188 90.9%	1,005,850 86.0%	949,292 81.2%	892,934 76.4%	835,554 71.5%
(参考)全国	128,057,352 100.0%	126,597,298 98.9%	124,099,926 96.9%	120,658,816 94.2%	116,617,659 91.1%	112,123,571 87.6%	107,275,851 83.8%

(出典:国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計))

将来推計人口の推移(H22との比較)



駅周辺地区の現状 - 商業・酒田駅乗客数・歩行者及び自転車通行量の推移 -

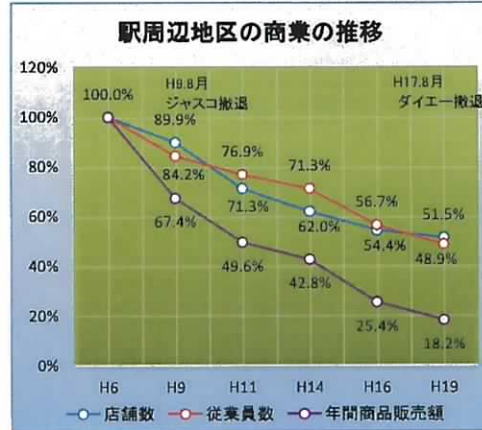
1 商業の推移(小売業と卸売業の合計値)

	H6	H9	H11	H14	H16	H19	増減 (H19-H6)	対H6比 (H19/H6)
酒田市	2,210	2,104	1,946	1,878	1,805	1,642	-568	74.3%
駅周辺地区	237	213	189	147	120	122	-115	51.5%

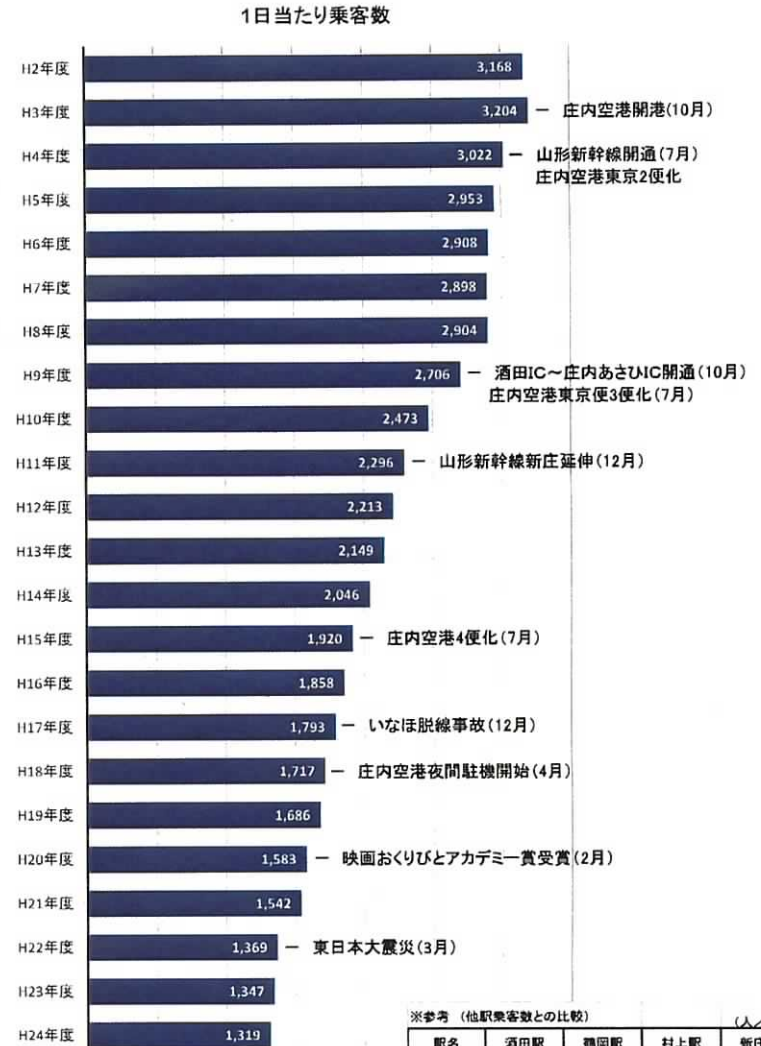
	H6	H9	H11	H14	H16	H19	増減 (H19-H6)	対H6比 (H19/H6)
酒田市	12,023	12,170	11,484	11,123	10,506	8,944	-2,079	82.7%
駅周辺地区	1,073	904	825	785	608	525	-548	48.9%

	H6	H9	H11	H14	H16	H19	増減 (H19-H6)	対H6比 (H19/H6)
酒田市	4,642	4,633	4,190	3,791	3,485	3,194	-1,448	68.8%
駅周辺地区	236	159	117	101	60	43	-193	18.2%

(出典:商業統計調査酒田市報告書 各年6月1日調査)



3 酒田駅の乗客数の推移(1日あたり乗客数)



※参考 (他駅乗客数との比較) (人/日)

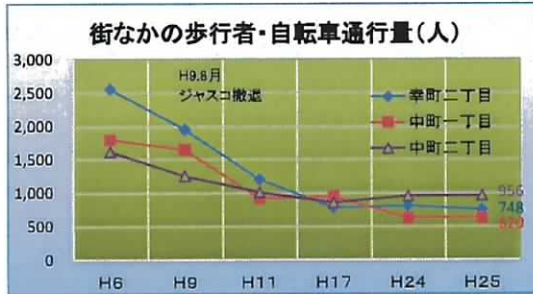
駅名	酒田駅	鶴岡駅	村上駅	新庄駅
H22年度	1,369	1,379	1,847	1,593
H23年度	1,347	1,347	1,797	1,508
H24年度	1,319	1,361	1,806	1,582

2 歩行者・自転車の通行量の推移

調査場所	区分	H6	H9	H11	H17	H24	H25
幸町二丁目 (旧ジャスコ前)	歩行者	1,357	810	671	352	372	422
	自転車	1,196	1,140	530	426	430	326
	計	2,553	1,950	1,201	778	802	748
中町一丁目 (佐兵工業局前)	歩行者	529	367	373	332	263	274
	自転車	1,267	1,278	535	611	358	346
	計	1,796	1,643	908	943	621	620
中町二丁目 (まる五前)	歩行者	929	631	686	520	533	668
	自転車	682	619	317	331	414	288
	計	1,611	1,250	1,003	851	947	956

※7:00~19:00(12時間)の通行量

(出典:H6~H17は交通センサス、H24・H25は市商工港湾課調査)



※H9の調査日は10月7日

年度	歩行者	自転車・バイク	合計
H17	1,189	521	1,710
H22	1,067	342	1,409
H23	1,076	196	1,274

※7:00~19:00(12時間)の通行量

(H17・H22は交通センサス、H23は都市計画課調査)